

# 英彦の泉

聖母の騎士学園  
同窓会会報

☎850-0012  
長崎市本河内2-2-2  
TEL 095-823-4523  
FAX 095-823-4759  
- 第20号 -

## 同窓会で お待ちしております

同窓会会長  
赤本喜代次



主の平安

英彦の泉、一年ぶりのご無沙汰でした。皆様にはお変わりなくお暮らした事と思います。今年も会長職を賜りました。昭和42年卒の赤本です。力不足ですがご指導宜しくお願い致します。学校の年間行事としての始業式・卒業式と色々参加しています。

先日、中島優神父様が亡くなられました。名前の通り大変優しい神父様でした。ご冥福をお祈り致します。きつと天国で休まれている事と思います。

去年の9月19日、奄美の同窓会の皆様12名にも参加して頂き、ミサ・総会・懇親会にと大変盛り上がりしました。翌日は朝一番のジェットホテル高速船で一路五島へ。奄美同窓会の10名とご婦人3名、赤本、そして大石君が同行してくれました。到着したら五島

在住の本村義則君と浜崎清治君が迎えてくれました。最初のコースは久賀島の五輪教会と牢屋の窄・浜脇教会です。船は木口汽船です。木口俊光さんは五島の市議で2回トップ当選された方です。尚、息子さんの一人は聖母の騎士の卒業生だそうです。その木口さんに五輪教会と牢屋の窄のご説明をして頂きました。大変すばらしい話でした。五輪教会は長崎の教会群の世界遺産候補の一つです。教会関連遺産の面でも木口さんは大活躍をされています。船をだして頂き誠に有難うございました。お礼申し上げます。

牢屋の窄の説明を少しさせて頂きました。五島崩れの迫害が始まり、6坪ほどの牢屋に200名余を8か月間閉じ込め、朝夕に一片のサツマイモしか与えられなかったので42名が死亡したそ

うです。

プチジャン神父様はその惨状を本国のフランスに伝え、キリシタン弾圧は外交問題に発展し、こうして1873(明治6)年にキリシタン禁制の高札が撤去され信教の自由が黙認されるようになりました。先人達の命をかけて守った信仰の教えを大事に守っていきたいと思っています。あなたはこのだけの迫害をうけて宗教を守れますか？棄てますか？

船から降りて本村君と浜崎君の車に分乗して島内の教会の巡礼です。詳しくは奄美の同窓会より報告があると思いますので割愛します。本村君、浜崎君有難うございました。尚、久賀島出身の方は先輩で昨年亡くなられた中村修道士さん、松山さ

ん、浜村さん、同級生の浜村君を覚えています。又神父様・修道士様・シスター様を沢山輩出しています。先祖の信仰を守っておられるのでしょうか。最後になりましたが、同窓会の会費で校舎玄関のマリア様像の化粧直しをする事が出来ました。光輝いているマリア様に会いに来て下さい。お待ちしております。

最近どこも同じですが、少子化の影響で聖母の騎士入学の生徒が減り学校の存続が難しい時代になっています。聖マキシミアノ・コルベ神父様が創立した学校が無くなるのは耐えられません。存続出来るように皆様の知恵、アイディアをお願いします。又一人でも多くの生徒を学校に送って下さい。同窓会でお待ちしています。

## カンコロ

聖母の騎士高等学校校長  
同窓会顧問 崎濱宏美



どことなく田舎くさい名前であるが、親しみを感じさせるいい響きの言葉ではないかと私は思う。語源がどこから来たのかよくわからない。カステラなどのように外来語の一種かも知れない。

五島列島出身の人で私たち世代の人たちの中には「カンコロ」と聞いて

ただけでうんざりするという人が多。一方では「あれは美味しい」と、目がない人もいます。カンコロは好きと嫌いがはっきりした不思議な食べ物である。

カンコロの原料はサツマイモであるが、二種類のカンコロがあった。芋を洗った後、薄切りにしてそのまま乾か

した干しガンコロと、皮をむき薄切りにした後、釜でゆがいて乾燥させた茹でガンコロである。干しガンコロは、主に焼酎の原料として売り出していたが、一部はよく砕いて粉にし、だんごにして食べていた。どういう訳かそのだんごは、片手で握って作っていたため、人の指の跡がはっきりわかる細長く黒いだんごだった。砂糖など付けて食べる結構おいしかった。

私の家で、ほぼ毎日のように食卓に出されていたのは、茹でガンコロを蒸した後、細切れにシャモジで砕いて食べるカンコロ飯であった。私の家だけで無く、戦後の貧しい時代の五島列島の代表的な食べ物であったといえるかも知れない。食べた後には、胸焼けや便秘などの覚悟もしなければならな

かった。うんざりすると言う人たちは、このような苦い思い出が、いまだに脳裏を離れないのであろうか。黒色のメシは、白米のそれとはあまりにも好対照をなしており、貧しさのシンボルとして、あの頃の生活体験と重なり合っているためかも知れない。

茹でガンコロは餅にもなっていた。カンコロに粘り気を出すため、先に置いていた米餅を2・3個セイロに入れてよく蒸した後、臼に入れ、杵でしっかりつき、カマボコを大きくしたような形に丸めていた。この餅は長く保存できていた。今では、五島列島のお土産としてもこの餅は売られているが、自家製のものがおおいしかったような気がする。餅用のカンコロは、甘味の多い種類の芋をえらび、皮などは丁寧

むいて作っていた。

私の家には、「ミツバイモ」とか「ボケイモ」とも呼ばれていた、とても甘くおいしい芋があった。赤い色の芋で細長い形をしていた。また、1本のツルにたくさん生える種類の芋であったが、ある年は同じツルに22個も付いているのが掘り出され、品評会にだそうかという話が出たほどである。

この芋に人気があったのは、生のままかじっても甘くおいしかったことだ。中身は真っ白で、蒸すと黄色くなり、餅にすると糖分が多いためであるう真っ黒になっていた。腹をすかした私たちが、畑の土の中からえぐり出し、土を落としただけで洗いもせず、皮ごと食べていたのはこの芋だった。しかし、この芋は、掘り出して収穫

した後、保存して冬を越させるためには細心の注意が必要だった。上質のものには壊れやすいものである。ある年、床下に二つある芋釜の一つはこの芋でいっぱいになっていたのに、春になって苗床に植えるため釜を開いたところ、やっとなつ分しか生きていなかった。父が悔しそうな顔で、芋の腐った部分を切り落とし、残った芋を一つひとつ籠に入れていた姿を覚えている。保存が難しかったためだろうか、私の村で、この芋を栽培している家は五戸ぐらいしかなかった。

昭和40年頃から過疎化が進み、今では人の姿と共に村から芋畑もほとんど消えてしまった。しかし、ミツバイモだけにはどこかで巡り合いたいと思う。最近、ある人から聞いた話であるが、例の手形付きのだんごを友人からたくさんいただいたので、隣の方にも分けてあげようと持って行ったところ、その御主人は「これはヤソ（ギリシタンへの蔑称）の食べ物じゃないか……」と、嫌な顔をしていたという事であった。

迫害に苦しみ、長年赤貧の中で生きていたギリシタンたちが、ギリギリの生活の中の知恵として、カンコロを産み出したのかも知れない。急にカンコロが懐かしくなってきた。今度食べる機会があったら、じっくり味わってみたいと思う。

## 会長経験者からの特別寄稿

# 英彦の泉20周年

## 無給奉仕の会長職 また楽しからずや

7代目会長 木場田友次

4年前、74才のバースデーに携帯が鳴った。青年老人、おめでとう。水浦久之氏の声だ。前年の忘年会の席で私の誕生日を尋ねたので、そっ

と耳打ちしていたのを記憶していたのである。あんたの好きな芋焼酎2本あるけん取りに来んね。

自宅を訪ねると、ベッドに横た

わっていた。起き上がると、今日は黙って私の愚痴を聞いてくれんか。迎えた時の笑顔が消えた。人生のゴールが決まったよ。余命1年の宣告を受けたことを口にする、天を仰いだ。次の言葉を聞くまでしばし時が流れ、2人は静寂の中にあつた。2人が顔を見合わせたとき、彼の頬にきらりと光るものを感じた。今執筆中の原稿が製本

になるまで頑張るつもりだ。ところで木場田氏、次の会長を引き受けてくれ。唐突の言葉に戸惑っている、次に意外な言葉が飛び出した。

長崎大司教区は教皇駐日大使の司式で、日本二十六聖殉教者列聖150周年祭を大々的に行う計画をしている。殉教者たちの十字架の跡にはギリシタンたちが椿を植え、信仰のしるしにしたと伝えられている。事業の一環として西坂の殉教地に二十六聖人の数に合わせ、椿の木を26本植樹しようと長崎大司教区に提案して

いる。力を貸してくれ、現生の形見にしたいんだ。水浦氏の覇気に押され、私がうなずくと、彼の顔に笑顔が戻った。長崎大司教区は私を実行委員長に推した。

未知数の計画に戸惑いながらも、我が同窓会の偉大な人脈が動いた。「マルチレスのところへ行こう」。これを合言葉に同胞が熱く燃えた。資金集めから、椿の木の選定に至るまで一致団結し、短期間でスケジュールの完成を見た。

平成24年6月10日、西坂の丘で駐日大司教大使ジョゼフ・チェノットウ長崎・西坂巡礼所」のプレート除幕式、椿の木の植樹と祝福式が行われた。この日、典礼委員長を務めた私を同窓会会員が大挙して支えた。聖母の騎士同窓会主催の行事と見間違えるほどであった。

水浦氏は来賓席で行事の成功を見ながら、マルチレスへ感謝と同窓会の発展を祈願したという。水浦氏の言葉で会長職を受け、西坂の丘に26本の椿の木を植えることが出来たことに感謝。この行事の1年後、念願であった執筆中の製本が届くのを待っていたかのように彼は神に召された。彼の葬儀も同窓会会員がすべて支えた。

### 祝！英彦の泉二十周年 あれから四十年！

5代目会長 窄口富行 65歳

ひかえめで美しかった妻。流行の肩まで伸びた長髪。あれから40年。美妻は原型を娘にとられ、長髪は見る影も無く、黄昏れて、トンスラになった。

思い起こせば25歳の頃、飲んべー仲間と「英彦山会」と言う同窓会らしきものを創った。仕事を忘れ旧友と飲む酒は格別であった。当時の学校や先生方との絆余曲折はあったが、「義」のある先生、先輩達に助けられた。それから間もなく下手な文字のガリ版印刷で同窓会新聞第一号を発行した。

そんなある日、今は亡き水浦久之先輩を訪ねた。見るからに「ヤクザ」？であった。「会長」を頼んでみた。あっさり断られた。それから、主に頼み、酒にまかせ、ひたすら先輩と飲んだ。初代「水浦会長」の誕生は実に希にみる難産であった。その後、築地会長、永田会長、竹中会長、大石会長、木場田会長、そして赤本会長で8代目である。

今までの会の存続は、もちろん皆様会員の協力のお蔭であります。が、その中でも特に熊川先生と小島先生お二方の存在がなければこの会は成り立っていません。本当に感謝、感謝です。



そして今、学校は耐震問題、生徒数の問題、等々で存続が危ぶまれてます。学校あつての同窓会です。どうぞご協力をお願い致します。

先日、校内の前のマリア像が有志の先輩方のお陰で金ピカに蘇りました。これからの行く末はマリア様に頼むしかない。

### 道楽亭

6代目会長 大石 諭

道楽亭は、3年前に天国へ召された初代会長、水浦久之氏が家主の「男たちの隠れ家」で、氏が経営する店の奥まった所にある集会所、兼飲み喰い処でした。

私も10年ほど前からお誘いの声が掛かる様になりましたが、集まってくる人達も多士済々。教区の神父様をはじめ、会社の社長や学校の先生、そして、その他の愉快な面々でした。そういう事ですから、話題には事欠きません。それぞれが一言を持ち、人生を語り、うまい酒が呑める、実に楽しい場所でした。そう言えば、水浦氏には随分と買い物に付き合わされたものです。

「大石、今日は飲み会やっけん、買い物に付き合え。」と、電話がかかる事もしばしば。そして、行先は三重漁港。大きな「ヒラス」を丸ごと一本買い、一人で捌き、その日の献立は、刺身としゃぶしゃぶ。それから、当然ビールや上等の日本酒。珍しい焼酎もありました。また、こんな事もありました。ウナギ13匹を買いに築町市場へ。「そげんいっばい買って、どげんすつとですか！」の問いに、「一人一匹ずつ食ぶつとたい。」と涼しい顔。「土用の丑の日」でも丸ごと一匹食べる人は、そういうないだろうと、驚くやら、呆れるやら。とにもかくにも、豪快な男料理を何度も御馳走になった。

今でも時々「道楽亭」の前を通ると、初代会長水浦久之氏と、氏を囲んでいた面々と共に過ごした、あの賑やかな時代を思い出し、これまでの20年を懐かしんでいる、今日この頃です。



# 学園だより

## 高総体 と高文連 報告

2016  
平成28年



平成28年度、長崎県高等学校総合体育大会の開会式が6月3日(金)、諫早の長崎県総合運動公園陸上競技場で開催されました。本校からは副校長先生を団長として25名の生徒が学校の代表として行進しました。今年度は3年生の部活参加者がいないため、前学生会長の津田君(3年)が旗手を務め、その役割を立派に果たしました。

競技には、バドミントン部と個人競技として陸上、水泳にそれぞれ出場しました。

なお、文化部のバグパイプ部が長崎県高等学校連合音楽大会に参加しましたので、併せて顧問や引率教員から報告していただきます。

### 【バドミントン部】

バドミントン部顧問 飯田友広

今年度の高総体は、人数不足で団体

戦に出場できず、個人戦ダブルスに1組、シングルスに3名出場しました。ダブルスは1ゲームを先取したものの、どちらが勝ってもおかしくない内容でした。気を引き締めて2ゲーム目に臨みましたが、だんだん相手のペースになり、2・3ゲームを連取され、1回戦で敗退しました。

シングルスは、試合経験不足、シングルの戦い方の巧さ、練習不足と3人も敗因が違いました。それぞれがある程度は持ち味を出せていますが、勝利に結びつくまでには至っていませんので残念な結果になりました。

出場した選手は2年生ですが、これからもしっかり練習を重ね、いろんな大会に出場して経験値を上げ、自信をもって戦えるようにしていく1年になります。

なかなか結果ができませんが、卒業生の練習参加を含め、これからもご支援

をよろしくお願いします。

### 【バグパイプ部】

バグパイプ部顧問 熊川武俊

5月22日(日) 諫早文化会館で行われた「長崎県高等学校連合音楽会 器楽・管弦楽部門」に本校バグパイプが出演しました。熊川先生の代理として、千住が引率しました。

今回は部員が5名に増え、さらに萩原先生のクラリネットでの参加もあり、これまでにない演奏となりました。他校の先生からの「バグパイプの世界が広がった!」との感想をいただきました。都合により予定していたプ



ログラムを変更し、代わりにワークショップで、他校の皆さんにもバグパイプの体験をしていただきました。

後半は、本校が司会を担当しました。急遽変更した部分もありましたが、滞りなく会を進めることができ、ほっとしました。また、フィナーレは「情熱大陸」の合同演奏にも参加しました。

初めての試みあり、思いがけない変更あり、と周囲はハラハラしていましたが、本番に強い本校バグパイプ部。部員の顔にはいつも以上の笑顔と達成感がありました。来年の連合音楽会には、さらに成長した姿と演奏を披露できるよう、練習を続けていきます。

今後とも、皆さんのご支援をよろしく願っています。

(引率:千住先生)



マリア様の像が  
きれいになりました。



学園の駐車場から階段を上がり、玄関手前の右側にマリア像があります。誰もが一度はその前で、祈りを捧げたり、記念写真を撮ったりした覚えがあるのではないのでしょうか。そのマリア像も年月と共に老朽化が進み塗装が剥げてきました。そこで、同窓会で新しく塗り替えることになりました。工事は中田ザビエル工房さんをお願いしました。今年の7月初旬の梅雨の合間、古い塗装が

はがされ、下塗りをした上で綺麗に塗装していただきました。  
見違えるように美しくなったマリア様。これからも学園を見守り続けてくれるものと思います。  
(上段は工事前の写真)



# 生徒募集 母校で、ご子息を学ばせてみませんか。

## ■一般生

- ★1学年1クラスの少人数教育。
- ★学力が高い生徒のために進学コースを設置。実力をアップして上級学校への進学を目指します。
- 1年生:「センター試験対策コース」
- 2・3年生:「国立大学進学コース」

## ■神学生 (聖コルベ志願院 ☎095-828-0541)

- ★コンベンツアル聖フランシスコ修道会の神父を目指します。祈りに始まり祈りに終わる生活で信仰を深め、キリスト教指導者になるための知識・教養を身につけます。
- ★高校卒業後は一般の大学で神学以外の専門知識を身につけた後、上智大学神学部へ編入して司祭を目指します。このため高い教養を身につけることが要求されます。
- ★神学生の授業料・生活費は修道会より支給されます。

オープンスクールを開催します。  
10月15日 土曜日  
お気軽にご来校ください。

※学校見学会は以下の日程で行います。  
9月3日、10月1日、10月29日  
11月5日、11月19日、12月17日  
(全て土曜日です)

## ■校内特待生制度

- ★成績優秀な生徒には特待生制度により奨励金を支給しています。

## 寮完備

県内外を問わず広く一般生徒のために寮を完備しています。規則正しい生活の中で、秩序と和を学びます。毎日の食事は、専門の業者による栄養管理のもとで提供されます。

## 聖母の騎士高等学校

長崎市本河内2-2-2 ☎095-823-4523  
ホームページ <http://www.seibonokishi-2008.jp/>



# 各地区からの お便り



## 〜関東支部便り〜

### 老体に鞭を入れて 教会と繋がっています

東京都在住 山野尊行

赤羽教会で7月9日に開催された恒例の関東地区同窓会に20数名の同窓生と共に参加しました。今年は藤澤幾義神父様の司祭叙階50周年記念のお祝を兼ねた集いで、金祝ミサは藤澤神父様、奄美大島から駆けつけた久保芳一神父様、斎藤優助祭の共同司式のもとCum Jubbiloの歌ミサで執り行われました。

続いて行われた親睦会では殆どが加齢が進んだ同じ顔触れでした。何時もと同様、病氣や孫の話題が多くなるのも致し方ないと納得して再会を喜び合った次第です。

今年OFMコンベンツアルでは次期日本管区長改選選挙が実施されると聞き及んでいます。神に祝福された素晴らしい管区長の誕生を期待します。

思い返しますと現管区長、崎濱宏美神父様が管区長に選出された2008年11月5日には奇しくも同じ日にアメリカのバラク・オバマ大統領が選出されました。またその年9月15日にリーマン・ショックで国際経済危機が発生し、11月24日にペトロ岐部司祭と187殉教者が長崎で列福されたりした激動の年でもありました。

2期8年の任期を終え今秋退任される崎濱管区長には私達関東の同窓生は修道会の仕事で内外を飛び回って忙しい激務のなか長期に亘り色々のご協力とご指導を頂きました。

同窓会々場の提供、赤羽教会でのグレゴリオ聖歌による追悼ミサ司式、鹿嶋教会や鷺沼教会での黙想会指導、茅ヶ崎教会での長崎県人会ご指導等々外部の我々からも衷心よりの感謝と労いの言葉を送りたいと思います。これからはお身体に気をつけて管区長として培ったご経験を生かして内外のご相談に乗って頂ければと思います。

ところで同窓生の皆さん、聖母の騎士社からもう一つの月刊誌『毎日の黙想』(400円、年間購読4800円)が出版されていることをご存知ですか、それは毎日のミサ中のみ言葉の一つを解説したもので、アメリカの『The word among us』誌の黙想の箇所を抄訳した日本語版です。

1989年に聖母の騎士社の当時の

編集長、坂谷豊光神父様が定期刊行物の記事を模索して聖コルベ神父様に祈っていたところへこの記事を持ち込んだ堀江亀子さんと云うご婦人がドミニコ会の渋谷教会にいらっしやいます。渋谷教会では『Alpha』の集いと云う福音宣教のような活動をなさっています。

実は堀江さんのお孫さんでSeattleに住んでる日米のハーフで、チエちゃんと呼ばれる可愛い女学生が日本語の勉強を兼ねて6月より約3カ月間日本に滞在し各地を回っています。堀江さんのアイディアで6月中旬に聖母の騎士社の印刷所で10日間研修させて頂きましたところ、殆ど雨だったのに日本で長崎が一番気に入りましたと嬉しい事を云ってくれています。

『毎日の黙想』は水浦征男神父様、赤尾満治神父様へと引き継がれ今も発行されています。ミサに与る際にとっても参考になります。是非一読されては如何でしょうか。

雨と云えば、熊本地震に続いて九州地方の大雨は本当に気の毒ですね、先日フランススコ会の田園調布教会で熊本支援のためのチャリティ・コンサートがありメンバーに入れて頂き唄ってきました。

一方喜寿を迎えた私ですがお世話になっっているサレジオ会鷺沼教会で、司祭不足のため、聖体奉仕、葬儀斎場で



のお祈りの手伝い等のほか、横浜山手教会近くの「エリスマン邸」で9月2〜7日間に開催予定マザー・テレサ列聖を祝う写真・言葉展の開催の準備をしています。またご要望があつて数名の方々に月に1〜2度グレゴリオ聖歌を教えたり、彼らを東京カテドラルで11月5日の司教荘厳ミサで唄わせるため高円寺教会での公式練習にも連れて行ったりもしています。

今後とも身体が動く限りは老体に鞭を打って教会と係わって行く積りでいます。

# 「関東支部便り」 ラテン語と私 『少年Y・T』

関東支部事務局 徳永義雄

## 「ラテン語修学のためのダブリ」

少年Y・T（以下少年又は私）は長崎県平戸市立小学校のある分校を卒業すると、長崎市内の長男の住まいに居候しながら都会の中学校に通うこととなった。当時は戦後の第一次ベビーブームで生徒も多く中学1年のクラスはひとクラス60人近いクラスで14組と教室が足りなく、グラウンドに仮設プレハブの教室を建てるような状況であった。小学校の1年から6年まで複



故郷の平戸と九州をつなぐ、平戸大橋

式学級ですごした片田舎出身の少年は環境がまったく違った都会の中学校生活を始めることとなった。

一学期が終わり、夏休みが始まるに合わせ郷里の平戸に帰っていた少年に運命的な出来事が待っていた。巡回教会である郷里の教会に修道服を着た修道会の神父がミサをたてにやってきたのである。その神父の名前はアンゼロ明松神父様。その神父様はニコニコ笑いながら私に近づき『神学校に来んか?』と言ってこられた。

12人兄弟の12番目の少年には一人くらい聖職者になってもいいのではと両親にはすでに根回しがされていたのか両親の反対はなかったように思う。

そう言うことで年を越した春には少年は神学校の門をくぐる事となった。ラテン語を最初から勉強するために中学1年の教科をもう一回学習すること。もちろん、ラテン語の担当先生はアンゼロ明松神父様である。ダブリ! ダブリ! と同級生にからかわれながら、中学1年生の1年は過ぎていった。

## 「白紙の答案」

いよいよ2年生になって田舎育ちの少年の実力の学年がやってきた。

ラテン語以外は同じ教科を二回やったのでそこそこ学習にはついていくことができたが、二年生の新しい教科と

ラテン語では成績は当然下降気味で、又小さいころから両親の元で育った少年には郷里を思うホームシックと反抗期が時を同じくしてやってきた。

そのような時期にラテン語のテストがあった。少年はその答案用紙に自分の名前だけ書いてラテン語のテストを白紙で出してしまったのである。当然担任のアンゼロ明松神父様から校長室に呼ばれた。

「白紙の答案用紙を提出してどうしたんだ。」みたいなことを言われたような気がする。

ただ、55年経ったいまでもはっきり覚えていることは神父の修道服の胸で泣きじゃくり修道服で涙を拭いたことは鮮明に記憶の中にある。中学生高校生を合わせると80名を超える血気盛んな思春期の寮生を束ね、時にして父親代わりになり又校長として学園を守っていたいただいた神父様を懐かしく思い出される。

## 「グレゴリオ聖歌の死者ミサ」

数年前から毎年東京の赤羽教会で死者の月（11月）の最後の土曜日にグレゴリオ聖歌による死者ミサが開催されている。

これは当学園の校長兼管区長様の崎瀨神父様のご意向で催され、神父様の司式で聖母の騎士同窓生がラテン語で死者ミサが行われる。

ラテン語を勉強した先輩もだんだん少なくなり歌声も小さくなりがちであるが、ラテン語での死者ミサは絶やしたくないものである。

## 「もっとまじめに勉強していたら」

もうすぐ70才の古希を迎えようとしているが、もっとまじめにラテン語を勉強していたらと思うようになった。ラテン語は言語の起源をなし、イタリア語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語等の基礎となる言葉であるが、もっとまじめに勉強していたらより心豊かな人生であったのでは思う。私たちの身近なところにもたくさんラテン語があふれている。

自宅の近くにはステラ「Stella」という美容室がある。星(stella)の輝きのように美しく髪を仕上るとの思いがあるのだろう。

トヨタの車でハイブリット車のプリウス「Prius」は「先駆け」の意。

イタリアの著名なサッカークラブのエヴェントス「Juventus」は「青春、青年」の意。

神奈川県湘南をホームタウンとするJリーグクラブの湘南ベルマーレはbellum「美し」+ mare「海」でBellmare。

もっとまじめにラテン語を勉強していたらと後悔している人は「徳永義雄」でした。

「関東支部便り」  
**祝 藤澤神父様金祝です!**  
**OBの皆さまへ**  
**叙階五十年の節目に**

亀有修道院 藤澤幾義



お元氣にてお過ごしでしょうか。私  
 は何かと元氣で過ごしています。今回

「英彦の泉」に投稿しようと思ったの  
 は、私は今年司祭叙階から50年という  
 節目の年を迎えたので、かねてより皆  
 さんのお祈りや犠牲のお陰でこの年を  
 迎えることができたものとの思いから  
 皆さまに感謝の心をお伝えするために  
 投稿させていただきました。

私は、3人の兄弟たちと一緒に  
 1966年3月20日に本河内教会で山  
 口大司教様より叙階のお恵みを受けま  
 した。一人の浜田盛茂神父は3年前に  
 天に召され、一人は別の道へと進みま  
 した。あれから50年が過ぎて金祝の年  
 を迎えました。

カトリック教会は、今年「神のいつ  
 くしみの特別聖年」を過ごしています  
 が、私がこの金祝を迎える事が出来た  
 のは、神のいつくしみによるお恵み以  
 外のなものでもないかと確信していま  
 す。私がこれまで頂いた、神のいつく  
 しみのお恵みは皆さんのお祈りのお陰  
 と思ひ、この紙面をお借りしてお礼を  
 申し上げたいと思います。沢山のお祈

りありがとうございます。

私は、イチロー選手が4257本の  
 ヒットを打って新記録を樹立した時、  
 イチロー選手が「わたしは、数字や記  
 録を残すために野球をやっているのだ  
 はありません。心の中に磨き上げたい  
 石がある。それを野球を通じて輝かし  
 たい」と述べられた新聞の記事を読ん  
 だとき、私は恥ずかしい思いをしまし  
 た。これは、主が、弟子たちに向かっ  
 て、「あなた方は、地の塩、世の光で  
 ある」と言われ、「あなたがたはよい  
 行いをもって世の中を照らすような光  
 になりなさい」との言葉が思い浮か  
 び、イチロー選手は、正しくキリスト  
 のことばを実行しているかのように  
 思ったからです。

私は、司祭叙階50年を迎えていると  
 いうのに、キリストのことばを実行し  
 ようとしていない自分に恥ずかしい思  
 いをした次第です。私も今は亡き父の  
 年齢(77歳)になりました。これから  
 何年生きるか分かりませんが、渡辺和  
 子シスターの本の中で、ジェラルド・

シャンドリーという人が「一生の終わ  
 りに残るものは、われわれが集めたも  
 のではなくて我々があたえたものであ  
 る」とありますが、年を重ねるに従っ  
 て、ああしてほしい、こうしてほしい  
 など、要求や欲求が増え、してくれな  
 い、して貰えない、など不平不満が増  
 えてくる中で、最後は、ホイヴェルス  
 神父が言うように、年とって何も出来  
 なくても最後まで出来るのは、手を合  
 わせて祈ることだと言っておられるよ

「岐阜県便り」  
**記録にも**  
**記憶にも残る...**

可児市在住 神原 聖

うに、一人でも多くの人のために祈る  
 ことが出来たらとまじめなことを考え  
 たりしています。  
 修道者として、師父聖フランシスコ  
 の弟子として、心の石を磨き、少し  
 でも師父に近づくといいと思っています。「さ  
 ながんばりしたいと願っています。」「さ  
 あ、今から始めよう」との師父聖フラ  
 ンシスコのことばに力づけられながら  
 ...。OBの皆さま、引き続きお祈り  
 下さい。 2016年7月吉日

会員の皆様、昭和62年卒業の神原  
 聖です。さて、先日恩師の熊川先生  
 より、ほぼ命令に近い寄稿要請があ  
 り、喜んで承った次第です。当時お  
 世話になった先生方を振り返るとと  
 もに、近年お亡くなりになった博多  
 屋先生への哀悼の意を捧げると共  
 に、謹んでご冥福をお祈りしたいと  
 思います。出来ましたなら同級生の  
 皆さんも思いをはせながら一緒にお  
 祈り願います。  
 当時を振り返ると、やはりレジエ  
 ンドは高原先生でしょう。ありがた  
 いビンタで幾度となく枕を濡らした

ものです。広島先生のおやじギャグ  
 は、当時最強でした。それから、吉田  
 先生のおかげで似顔絵がメッチャ得意  
 になりました。少人数制が極まって、  
 先生方との距離が非常に近く、私に  
 とっては良い思い出がありません。  
 特に高総体(サッカー)では島原南  
 高校と対戦し、前半を10対1という大  
 差で折り返したのですが、後半、キャ  
 プテンの小池純忠君から僕がパスを受  
 け、ドリブルでゴール前まで迫った  
 後、相手のゴールキーパーと接触。コ  
 ボレ球を永塚元春君が押し込んでゴ  
 ル!!我々は、まるで勝利したかのよ  
 うに喜んだのです。記録にも記憶にも  
 深く残る、まさに青春のひとコマでし  
 た。弱小チームでしたが、とにかく一  
 生懸命にサッカーに打ち込んでいたあ  
 の頃を、焼酎を片手に思い出す今日こ  
 の頃です。

# 三重県便り 心と体の ターニングポイント

四日市市在住 山下 誠

皆さま、お久しぶりです。平成3年に聖母の騎士高校を卒業させていただきました。在学中はいろいろとお世話になり、そしてご迷惑をお掛けし、この場を借りてお礼とお詫びをさせていただきます。

さて、そんな生意気な少年も今や40を過ぎました。体力的に翳りが出てきたのを実感するようになり、何か運動するかなーと、10年ほど前に少しかじったポウリングを再開してみたら、筋力と持久力のなさに愕然としました。鏡を見てもそこにあるのは立派な中年体系、ウエスト95cmのメタボおじさんの体です。尿酸値も下がりきらないし、ここはひとつライザップに！……あらお値段高い！ということ自分で基礎体力作りを始めました。



が、自力でも何とかなるもんです。もちろん、食生活もがらりと変えましたが、途中の挫折は数十回味わいました。自宅から歩いて1分掛からないところにラーメン屋さんがあつて、夜中1時まで開いているのです。でも、何とか体型が変わってきて、スーツ、シャツまで順次買い替え中で、結局お金は掛かりますが、うれしい悲鳴といましようか、生まれて初めてスリムタイプのスーツを買う楽しみを味わっております。

## 長崎県便り 私を育ててくれた 母校を卒業後……

長崎市在住 川村隆公

私は、平成20年に母校である聖母の騎士高等学校を卒業しました。その後は、介護福祉士の資格を取得する為に専門学校へ行き、卒業後は介護の施設で働いています。介護の仕事を選択したきっかけは、中学時代に実施された職場体験です。その際にデイケアという日帰りで利用出来る施設に行かせていただきました。

夏、まぶしい太陽のもと、引き締まった肉体を、暑いビーチで……(7月中旬原稿執筆中)あれ？独身かつ独りぼっちなので先にそっちを何とかしないとイケませんね(泣)。皆さんも、何かに行き詰ったとき、筋トレで打開してみたいかがでしょうか。心身ともに新しい世界が広がります(多分)。あ、プロテイン摂取の時間なのでこの辺で。

※山下さんは、現在四日市市で医師として活躍中です。

私は、平成20年に母校である聖母の騎士高等学校を卒業しました。その後は、介護福祉士の資格を取得する為に専門学校へ行き、卒業後は介護の施設で働いています。介護の仕事を選択したきっかけは、中学時代に実施された職場体験です。その際にデイケアという日帰りで利用出来る施設に行かせていただきました。



学んだから現在こうやって介護の世界で働いているのだと思います。道徳教育の欠落が原因と思われる事件が頻繁に報じられている昨今、本校で「和と善」をはじめとする十分な道徳教育を受けられたことが、施設利用のご高齢の方との会話にも活かされております。

ですから、先生方始め同級生の皆さんには、感謝の言葉でいっぱいです。本当にありがとうございます。これからも私は大好きな介護の世界(たまには辛いこともあります)で仕事をしたいと思えます。また今後は、介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格の取得という目標に向かって励みたいと思っております。この資格は、難しく合格率も低くなっていることですが、それにめげず頑張つて資格を取得し、必ず誰からも信頼出来るケアマネージャーになりたいと思っています。

最後になりますが、聖母の騎士で学び遊んだ三年間は忘れません。私を育ててくれた母校の発展をお祈り致します。



聖母の騎士高等学校校舎(左)と聖コルベ志願院(右)

## 「長崎県便り」 かつて過ごした この場所で

コンベンツアル聖フランシスコ修道会  
ゼノ 宮城信愛

はじめまして、今年の3月12日に  
莊嚴誓願を宣立する恵みをいただき  
ましたゼノ宮城信愛です。今回は司  
祭を志して聖母の騎士学園に入り、  
莊嚴誓願宣立に至るまでの過程をか  
いつまんで書かせていただきます。

私の出身地は大分県です。小学校  
を卒業して小神学校に入るまでコン  
ベンツアル聖フランシスコ修道会と  
直接には関わりがありませんでした。

た。あえて挙げるとするならば幼稚園  
の頃から実家にゼノさんの写真集『ゼ  
ノさん、愛の使者』と子ども用のコル  
ベ神父様の物語本があり、それらを読  
んだくらいです。ゼノさんの写真集は  
何か惹かれるものがあり何度も見てい  
ました。

司祭を志した私がなぜ聖コルベ志願  
院に入ったのかというと主に二つの理  
由が挙げられます。第一に、地理的に  
実家と同じ九州にあるという点で一番  
心細さがまぎれるということ、第二  
に、家族で一度長崎巡礼をしたとき、  
聖母の騎士を訪れており、全く見知ら  
ぬ場所ではないということでした。

小神学校に入ってから環境が家と  
は全く違い、戸惑うところが多々あり  
ました。学友たちとの人間関係に挫折  
して、荒んでいたこともありました。

小神学生としても、学生としても褒め  
られたものではありませんでした。そ  
のような私を「傷ついた葦を折ること  
なく、暗くなつてゆく灯心を消すこと  
なく」忍耐強く見守ってくださった聖  
母の騎士学園、小神学校には感謝して  
もし足りることはありません。

その私が今年の四月からは、聖コル  
ベ志願院の舎監・会計、また聖母の騎  
士高校で宗教の授業を週に一コマをさ  
せていただくことになりました。

十数年前に小神学生として生活して  
いた場所で、今年から小神学生を養成

## 「長崎県便り」 最近思ふこと

昭和四五年卒 五島在住 濱崎清治

第二次世界戦争後、7年経ってから  
生まれた私たちは、物が無い貧しい時  
代と物が有り余る豊かな時代を経験し  
てきました。カトリックの家庭に生ま  
れた私は小学校の頃、8kmある道の  
りで(何故こんなに遠くまで歩いて学  
校へ行くんだろう。)と考えていまし  
た。しかも、道は獣道に近いし、朝露  
が降りた朝は、靴が濡れて靴下までび  
しょびしょでした。その答えが分かっ  
たのが、つい最近です。

長崎県が教会を世界遺産にと運動し  
始めたころ、私なりに勉強した結果、  
先祖は、自分達の信仰を守るため、外

する立場になるというのは、不思議な  
気がします。割に年の近い小神学生た  
ちにかつて小神学生時代を六年過ごし  
た先輩として何らかの有益なアドバイ  
スを与えることができたと思いま  
す。また、修道生活を志す上での様々  
な悩み、葛藤なども自らの体験に照ら  
しながら分かち合いつつ共に歩んでい  
けたらと思います。

私を育ててくださった聖母の騎士学  
園、小神学校にどれだけことができ  
るかわかりませんが、どうぞこれから  
もよろしく願います。



海地方から開拓移民として五島に移り  
住み、弾圧を逃れて、人気のない方に  
移り住んだと考えられます。移り住み  
2代、3代までは外海地方のこと等が  
語り継がれたと思いますが、7代、8  
代の頃になると自分たちのその日の暮  
らしのためにどうやって、魚を捕ろう  
とか、どうやって収入を得ようとかを  
考えて先祖のなした偉業はほとんどの  
家庭で語り継がれてはいませんでした。  
しかし、先祖たちが毎日行っていた  
朝晩の祈りはどの家庭でも行われ、隣  
りで遊んでいると夕の祈りが始まり、  
一緒にお祈りして、家に帰ってまた、  
先あげをすることもたびたびありまし  
た。今も思い出として残っていること  
は、夕食後母が囲炉裏の傍で読んでく  
れた聖母の騎士の月刊誌でした。当  
時、コルベ神父様の生涯が連載されて  
いました。人の身代わりで死んでいく  
神父様は神様と同じで私達とはかけ離  
れた存在であると思っていました。何  
年かたって彼が設立した学校に自分が

入学するとは当時は知る由もありませんでした。  
 貧しかった少年時代は、いつも空腹でありましたが、心はいつも神様が傍にるように満たされています。

高校を卒業すると、日本は経済成長に突入し、新聞配達バイトの収入で大学を卒業できる程でした。しかし、教会からは遠くなり、収入のよい資格を取ろうと必死で自分がピッチになると神頼みするくらいで神様とは無縁の存在でした。そのため、心はいつも渴いていました。

神様の存在に気づかせてくれたのは教会でした。沖繩では、小祿教会で子供たちとキャビン等を福岡の光が丘教会ではバザー、研修会の準備をしました。どの教会にも一生懸命働く人たちがいます。その人たちの顔は光り輝いています。私にもこのようなことができるかなと思いついて、五島の三井楽教会ではクルシリオの担当をしています。

今、思うことは、残された人生を人のために働き、過疎化しつつある五島に年とっても働けるような場所を作り出すことです。これも、神様の謀はかりごとで私は、み旨のままに働こうと考えています。教会を中心に何時の日か多くの人達の笑い声を夢見て、今日も畑に芋を作っています。

## イギリス便り EU離脱 私の住む街では…

奄美支部 励倫太郎



会報20年を迎えられたとのこと、ご祝福申し上げます。同窓会の皆様、お久しぶりです。

今年は、新しい家族のメンバーが加わり、家の中がまた騒がしくなりました。5月に長女が生まれましました。元気にすくすく大きく育っています。

去年から精神科の病院に配属され、新しい分野の勉強に追われています。それでも、作業療法士として毎日色々な集団活動をしたり、料理の作り方を教えたりと楽しんでいきます。

今年のヨーロッパは沢山の出来事が起こりました。去年の総選挙で保守党が勝利し、その公約の一つであったEUとの関係に対する国民投票が行われました。私の妻はドイツ人なので、私たちにとっては、とても残念な結果となったEU離脱です。恐らく皆さんもご存知だと思いますが、スコットランドでは残留派が多数を占めました。私のいるウェールズでは、ほとんどの州で離脱派が多数を占める結果になりました。

ウエルズと、北イングランドの離脱支持が過半数を占めた幾つかの州は、EUから援助金を多く受け取っていた州でもあります。このような州では失業者率や貧困者数が高く、反移民の感情が強く、EUからの離脱は移民の減少に繋がると感じています。

近年英国では、ポーランドやルーマニアのEU加盟により、それらの国からの移民増加が生じ、特に貧困層からは、住宅問題や雇用問題の原因の一つだと言われてきました。国民投票の運動で、離脱派は移民の減少を約束していました。しかし投票後、ある離脱派議員は、「労働移民の減少は難しい」との見解を述べ、強く非難されました。

その他にも、離脱派の議員達は離脱の際には、「EUに支払うお金を国民医療に充てる」と公言しましたが、投票後には、「支払うお金全部を国民医療に充てるのは無理である」と述べました。どこの国でも、政治家は同じだなあと感じました。これらの矛盾から、恐らく中には

誤った方向に導かれた人たちもいたでしょう。  
 英国がこのEU離脱によってどう変わっていくのか、またヨーロッパがどう対応するのか、注目されています。特に、EUの中心的な国の一つフランスでは、離脱派が世論の過半数を超えているとも言われています。英国のEU離脱が、どのような影響を他のEU加盟国に及ぼすのか心配です。  
 しかし、残念な出来事ばかりではありません。今年は、4年に1度開催されるサッカーの欧州選手権大会で、ウェールズが、今大会初出場でなんと準決勝まで進みました。職場や近所では、サッカーの話題でいっぱいです。ウェールズの国全体が、とても盛り上がっています。  
 それでは、また色々書かせて頂きました。同窓会の先輩、後輩の皆様のご健康を遠くからお祈りいたします。



国際的家族 昨年、平成27年9月奄美にて



●奄美支部総会

平成27年5月17日 日 午後1時30分～

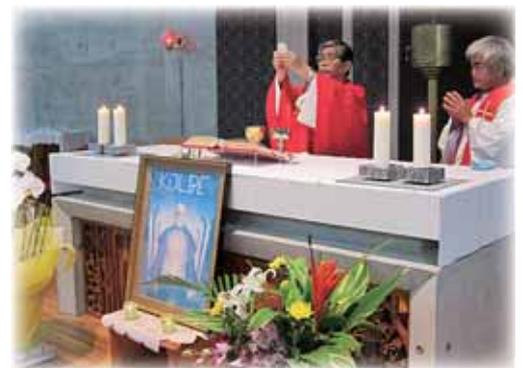
司祭の都合により聖体賛美式なし、ゼローム館2階教室で支部総会を行う。事務局の進行で、特に来年予定の押川司教様司祭叙階50周年のミサ等話し合いに入る。前年度の事業報告、決算報告、監査報告、提案のとおり承認される。今年度の事業計画、予算案、その他についても審議し特別異議なく了承した。希望の星学園での草刈作業は、平成28年の総会日、午前中に現地の壮年会と合同で草刈隊長、平国光の陣頭指揮でスムーズに進行した。

●物故者

聖母の騎士同窓会奄美支部の会員のご家族で、池田尚志さんのお母様と、押川尚樹さんのお母様が帰天されました。同窓会もお手伝いをしました。ご冥福をお祈り申し上げます。

●聖コルベ記念ミサ

平成27年8月14日 金 マリア教会



奄美支部結成以来続く 聖書朗読 安田孝春 聖コルベ感謝のミサ

信者さんたちも参列した追悼ミサ



聖コルベ記念ミサをはじめて 10年を超えることになる

婦人会の手作り持ち寄りでの懇親会



同窓会が始めたミサも最近は教会の信者さんが増えた

●トムくん初来日

平成27年9月



倫太郎が長男のトムちゃんと奥さんを連れて来た！



オーイ！ こっち見て！  
……無視された  
ヘイ、トム！ ルック ヒヤー？  
仕方なくこちらを見てくれたのだ…  
日本語が通じなくてオジサン困った。  
イギリスと日本の国籍を持つ国際人だよ

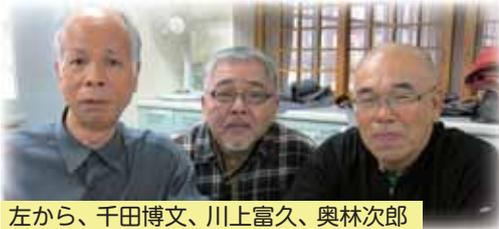


空港職員 山田誠、日く  
倫太郎の赤ちゃんは  
外人ジャガナ…  
お母さんはドイツ人です  
から可愛いや〜！

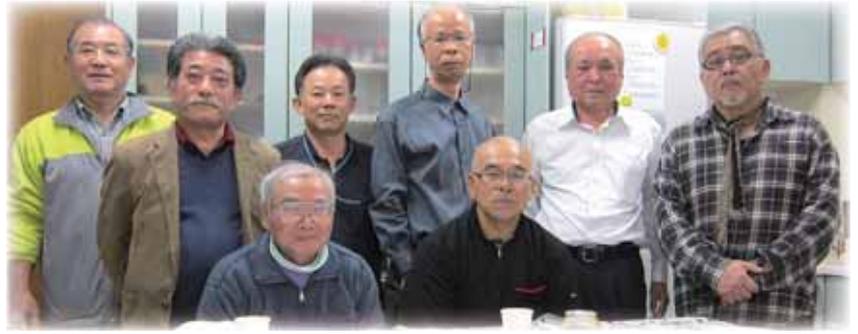


●奄美支部に仲間が来た

平成28年1月3日 日 マリア教会



左から、千田博文、川上富久、奥林次郎



正月休みを利用して次郎と千田が島に来た、次郎は信録と同じ大棚生まれ



昭和28年生の同窓会



左から、池田尚志、松永神父、金井弘司、大茂卓郎、久保神父、久保聖一、田下三佐男



金井弘司さんが大阪・仁川から島に来た 28年3月



長崎からビンセント神父様が、島にやって来た 27年8月



東京の田園調布教会から島に来た尚樹の友人も参加した



田下幸次も島に来ていたので、この盛り上がりとなった。小さな島だから皆兄弟です。奄美支部……如何でしょう？



●命日祈念ミサ

平成28年3月19日 日

ゼローム神父様、ラファエル修道士の命日ミサ



ゼローム神父13年忌、ラファエル修道士33年忌



第一朗読 池田尚志



第2朗読 久保聖一



記念写真  
遠慮がちである

[奄美支部結成10周年記念企画]  
**同窓会総会出席・長崎五島巡礼**



50年の時を越えて、騎士たちが揃った。迫害を乗り越えた先祖たちから受け継いだ尊い信仰を共に育んだこの聖母のもとに集い、お互い手を取り合って主の食卓を囲んだ。赤尾満治神父の司式に従い、これまでに頂いた恵みを深く想い賛美と感謝の祈りを捧げることができた。



総会の開催に先立ち行われた感謝のミサ。小神学校の聖堂にて



●ごミサ、同窓会総会



赤本会長の乾杯ご発声



大茂、安田



古田、山田、多恵子さん、田下、山田、吉岡



久保、安田、田下、大石



きびなご手造り  
Br. 松下の作品

同級会の  
幹部役員たち



悦雄とオイは  
同級生やケンね  
一番仲良しタイ

同級生たち  
小島、熊川  
近藤、山田



1991年、単独無寄港ヨット世界一周  
kairen 無線サポートチームメンバー  
7J6AAI(フィリピン)ビンセント神父  
JF6HHR(奄美大島)田下



奄美んモンたちがこれだけ集まりました。自己紹介します！



●五島の教会巡礼 その1



世界遺産のクレーンがとても近くに見えます 大波止出港



旧五輪教会で案内ボランティアの説明を受ける

貝津教会



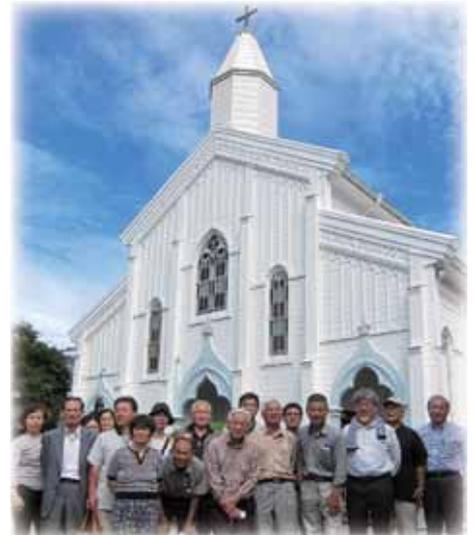
浜脇教会



フランシスコ中村修道士出身の浜脇教会聖堂にて



巡回ミサ中の司祭と記念に



水の浦教会にて



五島教会巡礼の案内人たち



ここまで来てホントに残酷で無残な多くの尊い犠牲があった事が分かりました。

西海国立公園 大瀬崎園地

旅の最後 最西端まで来ました



ボランティアのシャツ



赤尾満治神父様のご両親です。早朝から沢山の美味しいお餅を準備して下さいました。大感謝!

五島の教会巡礼 その2



教会までは結構歩きました



厳しい迫害が行われた事が良く分かりました



三井楽教会の資料館



撮影の後気付いた立入禁止区域(ルルド前)



三井楽教会の浜崎さん



ルルドの水を頂く



●やぐら寿司

▼このチャーター船で久賀島に渡りました



五島には素晴らしい教会が沢山ありましたネ



福江の峯さんが一緒にでした



挨拶はほどほどに早く食べません？



福江市の食事処で交流しました



最高の旅になりました 賛美と感謝



共に歌い、共に喜び、共に巡り、共に悲しみ、共に祈った

英彦の泉創刊20年記念企画

奄美支部編

私のツイート



奄美の空からこんにちは、丸田宗八郎と申します。学校を卒業して37年、無事に生きております。テレビで長崎の豪雨災害の様子を観ていると、胸が締め付けられる思いがしました。高原先生、阿野先生も天国に召され、寂しい思いもしますが、いつか、皆様に会えることを楽しみに筆を置きます。SMIばんざいです。

丸田 宗八郎 (奄美市赤木名)

同窓会だより『英彦の泉』が発行されてから20周年、誠におめでとうございます。日頃のスタッフの皆さんのご尽力に感謝申し上げます。

内野 洋平神父 (大笠利教会主任)

英彦の泉20年記念おめでとうございませう。年を取るにしたがって、もっとも多感だった聖母の騎士での中学生時代がなぜかつかしく思い出されます。その当時の長崎の町や、神学校や、ルルドの風景が思いだすとあざやかに心によみがえります。70才近くになり、米屋の配達を手伝いながら奄美の港や海、空、山などを油彩画や水彩画で描いています。会報が届くのを

毎年楽しみに拝見しています。スタッフの皆さまのご苦勞に感謝申し上げます。今後とも同窓会がさらに発展しますようにお祈りします。

池田 尚志 (奄美市名瀬)

長崎での聖母の騎士生活は1年と1学期だけでしたが、奄美に戻ったことでOBの方々と出会い、英彦の泉の存在を知りました。20周年おめでとうございませう。奄美では各小教区で多くのOBが活躍しています。司祭、修道士になれずとも、ずっとマリア様の騎士として、生きていきたいですね。

押川 尚樹 (奄美市名瀬)

ウワーもう20年になるんですか、おめでとうございませう。知らなかった。僕が知ったのは、ごく最近、皆様の益々の発展をお祈り致します。

金井 弘司 (西宮市仁川)

「英彦の泉」20年記念、おめでとう。遠く離れていても、いつもいつも暖かいつながりを感じ、おかげで、癒されています。ありがとうございます。ひとつひとつ積み上げて、20年。たいへんだったでしょう。年々歳を重ねて、あの時の若者が73歳になりました。この際、甘えて呟いてみたい。いつも小さな我が家に遊びに来て、親しく語り合っていた知人が突然天に召さ

## 平成27年度 決算報告書

摘要	収入	支出	残高等
繰越金(郵貯)	904,158		
繰越金(現金)	80,640		984,798
奨学金(送料含む)		60,324	
奄美補助金		90,000	
花代		15,000	
封筒代		8,723	
寄付金(演劇)		50,000	
全国大会参加援助金		50,000	
卒業記念品		26,040	
通信費・会報郵送料		79,358	
クラブ援助費		30,000	
西日本新聞社		1,296	
英彦の泉印刷代		246,240	
御ミサお礼		10,000	
会議費		2,810	
26年度入会金	51,000		
27年度入会金	66,000		
寄付(田川宏子)	10,000		
懇親会費・寄付等	27,174		
年会費	340,000		
雑収入	640		
上記残高+郵貯口座	1,479,612	669,791	809,821

## 平成28年度 予算計画書

摘要	収入	支出	残高
繰越金(郵貯)	693,406		
繰越金(現金)	116,415		809,821
28年度入会金	54,000		
年会費	250,000		
奨学金		60,000	
封筒代		9,000	
会報印刷代		250,000	
通信費・会報郵送料		80,000	
卒業記念品		26,000	
クラブ援助費		30,000	
御ミサお礼		10,000	
マリア像塗替え寄付		100,000	
会議費		10,000	
	1,113,821	575,000	538,821

れてしまいました。ショックでした。同じ歳でした。又、奄美の小学校の友人が海へウエットスーツを着て出かけ、行方がわからなくなり、翌日海上保安庁の船が、4キロ先の海上で見つけてくれました。亡くなりました。昭和19年生まれでした。泳ぎも達者、奄美の海も知り尽くしていたはずなのに。予期せぬ別れが、周辺で頻繁に起こります。明日は我が身と構えていますが、なにしろ凡人で、オロオロするだけ。今、直木賞作家、葉室麟「蝸の記」を読んでいます。武士の潔い心意気を感じています。聖母の騎士である我も騎士道らしく「我ら聖母の騎士 堂々すすめば……サタン」の頭を……」と時には、大声を出して歌い、

自分を鼓舞していますが、葉隠れの武士道とは「死ぬことをみつれたり」と達観するまでにはいたらないようです。エンディングノートがやがて仕上がります。遺言書までは……. . . . .と思いつつ、ひとり呟く毎日です。

20年記念おめでとうございます。我々も一緒に20年の歳を重ねているという事ですネ? さて、ここで折り返してあと20年へ頑張ろう!

安田 孝春 (奄美市名瀬)

泊 秀信 (大牟田市)

窓会奄美支部は去年10周年を記念し、長崎での総会后、下五島の教会巡礼をしました。五島では、浜崎、本村両氏の案内で五島の教会のすばらしさ、そして信仰の深さを感じる旅になりました。誠に有難う御座いました。最後に英彦の泉の益々の発展を願いつつ、10月の長崎同窓会で会いましょう。

Pax et Bonum. 平和と善!

聖母の騎士学園同窓会会報《英彦の泉》発行20周年記念にあたり、よろこびと神様の祝福を祈ります。オメデトウ!! 学園で学んだ青春のひと時を懐かしく想う絆で結ばれたわたしたちに、彦山の風を全国になびかせてくれ

田下 幸次 (曾於郡大崎町)

これからも、皆さんの声に接するのを楽しみにしています。編集者の労に感謝と神の祝福を祈ります。

カトリック那覇教区  
司教ベラルド 押川 壽夫



聖母の騎士・本河内のルルド



●同窓会奨学生

今年の採用は1名です。採用の基準は、「成績ではなく、家庭の経済状況を第一とし、特に他の生徒の模範となるもの」です。年間6万円を支給いたします。

●学園ホームページと

同窓会 Facebook

学園の様子など、上記で発信しています。特にFacebookは同窓生の交流の場として活用してください。一度ご覧になってください。

●会費納入のご協力を

毎年お願いしていますが、円滑な同窓会運営には資金が必要です。そして、資金の源は会費しかありません。母校と卒業生をつなぐ唯一の手段は同窓会です。どうかよろしくお願いいたします。

●三二便り

※このコーナーは、皆さんが振り込み用紙に書いて下さったお便りを紹介しています。これからも大いにご利用願います。(敬称略)

▼毎年、英彦の泉が来るのをワクワクして待っています。 五島市 濱崎清治

▼いつもありがとうございます。皆様のご活躍とご苦勞に感謝申し上げます。これからもよろしくお願いたします。

堺市 竹口良巳

▼今回も参加できず申し訳ありません。そのうち、同窓会以外にも長崎(母校)に何回も行くようになると思います。新任の赤本先輩にも会えるのを楽しみにしています。

※聖母の騎士誌の内容もOBの方々等の掲載があると、幅広い人に読んでもらえると思います。

長府市 濱口利夫

▼いつもありがとうございます。

鹿児島市 安田 誠

▼朝日新聞全国版「2015びわこ総文祭」の紹介記事に、聖母の騎士バグパイプ部が掲載されていました。今後のご活躍と学園の発展をお祈りいたします。

桶川市 斉藤 優

▼「英彦の泉」を消すことなく、益々の発展と多くの方々の参加をお祈り致します。今年もありがとうございます。

鹿嶋市 平松 弘

▼同窓会誌、いつも有難うございます。各支部便りで色々の奉仕に頑張ら

れている同窓生に力づけられます。新会長の下、一層の発展をお祈りします。

寝屋川市 萩原儀一

▼会費を送れることに感謝。今年の同級会は佐世保にて松崎薫君の追悼ミサでした。

会報楽しみにしています。先輩の昔のこと、後輩たちの新しい学校の様子など、聖母の騎士で学んだこと。よかったな〜と思います。

鎌倉市 平松壽護

▼英彦の泉、頑張ってください。いつも楽しみにしています。

池田市 磯辺浪男

▼いつもありがとうございます。

瀬戸市 桜本好美

▼同窓会のみますますのご発展をお祈りいたします。

春日井市 大曾 昭

▼素晴らしい会報、楽しく拝読いたしました。ありがとうございます。

長崎市 木場田友次

▼学園一同様の益々のご健勝を記念いたします。

長崎市 峰 徹

▼同窓会の皆様の聖母の騎士学園にこ

れまで以上のご支援とご協力をお願いいたします。

長崎市 赤本喜代次

▼つつい忘れてしまい、すみません。これからはちゃんと納付したいと思います。

長崎市 岩本大貴

▼いつも楽しみに拝読しています。同窓会のお世話をしてくださる皆様、本当にありがとうございます。

大牟田市 泊 秀信

▼お疲れ様です。会費の納入いたします。

東京 松尾豊樹

▼いつもありがとうございます。

大島郡 森永勇作

▼ありがとうございます。

五島市 峯 重昭

▼今年も会報ありがとうございます。いつも楽しみにしております。

四日市市 山下 誠

▼今、大学4年生です。与えられたみ旨を果たしていきますように…お祈りください。

富山市 永栄恵太(母)

▼仕事にも慣れてがんばっています。

長崎市 境 航平(母)

## 聖母の騎士学園同窓会 (本部役員名簿)

会長	赤本喜代次	顧問	崎濱 宏美
副会長	窄口 富行		木場田 友次
		大石 諭	会計
書記	小島 正人	補佐: 赤尾城司	
事務局	熊川 武俊	監査	峰 徹
理事			
	里脇 岩男、松本 修、竹内 松雄		
	平 孝之、滝元 敦、河村 隆公		



## 28年度 お知らせ 総会・懇親会 10月29日(土)開催

**会場 コルベ記念館ホール**  
御ミサ 16時00分～ / 総会 17時00分～  
懇親会 18時00分～

**会費 3,000円** { 修道会会員は招待、  
学生及び20歳以下は無料 }

参加お申し込みをされる方は、別紙申込用紙を FAX か郵送していただくか、下記メールアドレス(熊川)に御連絡下さい。

**FAX: 095-823-4759**

**Eメール: toshi\_dominic\_kumagawa@yahoo.co.jp**

## 編集 後記



昨年7月末、生徒3名と6年ぶり2回目の全国総文祭(滋賀県大会)に参加してきました。当日は、朝日新聞全国版で特色ある部活動として紹介されていた本校バグパイプ部とほか数校の紹介文と写真のダイジェスト版が会場で配布されていたこともあり、本校は少なからず注目されていました。演奏に関しては、生徒曰く6割の出来でした。

た。確かに演奏中の部長の顔は、緊張の塊のようでした。しかしながら、あらためてDVDを見ると、スコットランドの民族衣装で登場した部長のあいさつの時点で、既に拍手がたくさん。そして、演奏終了後には、人生初の「ブラボー」の声が……。わずか一人だけの小さなブラボーでしたが、大きな会場から聞こえてきました。ロビーでその方と話をしたところ、その方は、スコットランドの方で、日本の高校生がバグパイプを演奏すること自体驚きで、スコットランド人としてとても嬉しいと仰っていました。また、演奏後のロビーでは、「良かったよ」、「アメージング・グレイスには感動したよ」、「涙が出そうだった。」等々と、見知らぬ方々が生徒に声をかけてくださいました。前回参加した時も感じたことですが、全国大会に参加することの意義は、高校生たちがこのステージに向けて練習を重ねていくことは言うまでもありませんが、全国の高校生が一生懸命に演奏する姿をしっかりと見る事、聴く事を通して感動を共有し、個々が成長していく事にあるのだと思います。そして、それらの経験が、知らず知らずのうちに彼らの音楽の世界観と人生観を更に大きく、そして豊かに広げていく事は疑いありません。今回の出場で、本校の生徒たちも見違えるほど大きく成長したと思

います。今回の出場に際し、同窓会より援助金を頂いております。旅費等に充てさせていただきます。ありがとうございました。話は全く変わりますが、マリア様のご像の塗装に26万円余りかかりました。貧乏な？組織ですが、同窓会から10万円を支出する予定でした。しかし、結局は見兼ねた赤本会長、里脇氏、木場田氏、そして窄口氏の寄付で賄われました。(本人には無断で名前を掲載させて頂いております。)母校愛に心から感謝!です。下世話な話ですが、今回の企画に賛同して頂ければ同窓会を運営している者にとっても大いに助かります。(くまがわ)



2015滋賀びわこ総文に出場したバグパイプ部